

新ごみ焼却場の 不可解な契約！

2月7日、広域圏議会が開かれ、日本共産党からは、平野文活（別府）、阿部直瑞（杵築）、佐藤隆信（日出）の各議員が出席しました。平野市議は、次のように追及しました。

★新ごみ焼却場は、15年間の運転・維持管理費として88億5,390万円(税込)で日立造船と契約しています。次点の荏原の入札額は60億0,272万円でした。なぜ28億円も高い企業を選んだのか、全く不可解です。そのうえ、こんな不当な契約を結んでいるのです。

その1・・・ごみを減らせば、日立への支払額が増える？

広域圏事務組合（浜田博管理者）は半年ごとに日立造船にごみ処理料を支払います。その金額は次の計算式で算出することになっています。

固定料金－(1トあたりの処理単価×当期の処理量)

【固定料金】は15年間の通算で、約88億円になるように各年度に割りふられており、最小で約4億3千万円(H31)、最大で約6億7千万円(H34)と各年度で違い、その違う理由は不明です。

日立の【1トあたりの処理単価】は1,276円です。これで計算すると、右の表のようになります。

固定料金を、年6億円と設定すると

《年6万トを処理した場合》

$6\text{億円} - 6\text{万ト} \times 1,276\text{円} = 5\text{億}2,344\text{万円}$

《年5万トを処理した場合》

$6\text{億円} - 5\text{万ト} \times 1,276\text{円} = 5\text{億}3,620\text{万円}$

年間1万トンのごみを減量したら、事務組合は日立造船に対して、1,276万円も多く支払わなければならないのです。

その2・・・なぜ、ごみを増やす計画なのですか？

昨年度(H24)のごみ焼却量は、5万8,196トでした。ところが平成26年度以降は、毎年6万3,000ト以上の焼却契約をしているのです。この5,000トもの増やすゴミは、どこから持ってくるのでしょうか。

プラスチックの分別で、年1万ト減量が可能
別府市議会での平野市議の質問に対して、市当局は、「ごみの20%以上はプラスチック類であり、分別すれば、年1万トの減量と温暖化ガスの削減もできる」と答弁しています

事業系ゴミ・・・大分市では半減

大分市は平成19年度から、焼却場に直接持ち込まれる事業系ゴミに混ざっている産業廃棄物を厳しく規制してきました。その結果、事業系ゴミの半減を実現しました。

(平成18年度) 9万8,924ト
⇒(平成20年度) 4万5,930ト

★入札で28億円も高い日立造船を選定し、「ゴミを減らせば、支払い額が増える」契約を結び、「減量どころか、ゴミを増やす」計画をすすめる・・・こんなことを許してよいのでしょうか。

日本共産党市議団

市議会議員 平野文活 えんど(猿渡)久子

げんきニュース

2014年2月13日

NO, 591

暴力団がらみの不祥事・・・平野市議が要求 真相の調査と市民への説明を！

平野市議が「裁判記録」にもとづき追及

「今でも正しかった」という広域圏当局

ゴミ焼却場の運転を委託されていた『別府環境』は、暴力団組長に3300万円、浜田管理者の側近をなめる男に1600万円、計4900万円を横流ししていました。

広域圏当局（浜田博管理者）は、「独自の調査も市民への説明もしない」「『別府環境』に委託した」当時の判断は正しかったと今でも考えている」と答弁しました。

三者が極秘ですすめた

平野市議が紹介した裁判記録では、ある元従業員が警察の供述調書で『九州重環』の撤退を知ったのは3月末で寝耳に水のことだった。河村（別府環境社長）と重環と広域圏当局が極秘でことを運んだからだ」と述べています。

極秘で何をしていたか

平野市議は『別府環境』からの入札参加申請を受理したのは2月末、参加を認めたのが3月末、この1ヶ月の間、極秘で何をしていたのか」と質問。組合当局は「法的な証明ができる書類の提出を促していた」と答弁。

取締役会議事録の偽造

平野市議は「この1ヶ月の経過については、河村社長の供述が語っている」と次のような裁判記録を紹介。

「2月末の申請時には広域から『あなたの会社は2年以上の実績がない。申請書類は一時預かり』と言われた。その後、水永らが私も知らないウソの臨時取締役会の議事録を作成し、書類を整えた結果、広域圏事務組合から合格の通知が届いた。」

★裁判記録の詳細は、別途報告します

『赤旗』読者から投稿がありました。

別府から見た 国際宇宙ステーション の軌跡

馬場町に在住されている『赤旗』読者Mさんは、趣味で国際宇宙ステーションや彗星の撮影をしています。インターネットで別府上空を通過する時間帯を検索し待ち構えているそうです。

右の写真は、昨年1月、観光港から国際宇宙ステーションの軌跡を映したものです。

